News Release

2023年4月19日

各　位

武蔵野興業株式会社

西新宿東口映画祭

SHINJUKU EAST SIDE FILM FESTIVAL 2023

上映作品ラインナップ発表!!

桜の季節が終わると「**新宿東口映画祭2023**」の季節がやってきます!!　今年は5月26日(金)～6月8日(木)武蔵野館、シネマカリテにて開催、「*愛をスクリーンで*」をテーマに、様々な愛を描いた秀作が揃いました。

新作は直視すべき問題に注目!!

日本の各地に存在する「ゴミ屋敷」。捨てられない人と、捨てようとする人の姿をコミカルに描いた『**断捨離パラダイス**』。誰にでも起こりうる「認知症」。音楽を処方箋に認知症と向き合う音楽療法士にスポットを当てた『**認知症と生きる　希望の処方箋**』。劇場公開よりいち早くご覧いただきます。

日本映画は愛を表現する俳優に注目!!

西城秀樹：不良少年 誠と純粋な少女 愛との純愛を描いた『**愛と誠**』／**山口百恵**：「その火を飛び越して来い！」のシーンに心ときめく『**潮騒**』／**郷ひろみ**：友情と愛情の間に心悩む姿にキュンとする『**さらば夏の光よ**』／**ピンク・レディー**：SFと西部劇に人情劇？『**ピンク・レディーの活動大写真**』

その他にも**浅丘ルリ子**がマドンナを演じた『**男はつらいよ 寅次郎相合い傘**』、**黒木瞳**の『**失楽園**』をはじめ、**妻夫木聡**、**オダギリジョー**、**柴咲コウ**、**宮沢りえ**、**三浦春馬**、**多部未華子**などが出演する映画がラインナップされています。

洋画は熱い愛の物語に注目!!

少年と少女の出会いから悲しい別れまでを描く『**ボーイ・ミーツ・ガール**』。ブラジルの貧民街を舞台に夢と愛を求める少年たちが主役の『**シティ・オブ・ゴッド**』。2015年の日本公開当時、主演で初来日のマッツ・ミケルセンが武蔵野館に来館して観客をメロメロにしたというエピソードがある『**悪党に粛清を**』などを上映します。

アニメーションは伝説的作品に注目!!

現在でも新作が製作されている「サイボーグ009」の劇場第一作『**サイボーグ009**』、多くの観客を魅了するサンリオ作品からはタイトル通り伝説とも言うべき作品『**シリウスの伝説**』が再登場。昨年マニアック心をくすぐらせたTVアニメ「**一ツ星家のウルトラ婆さん**」が今年も登場します。そして、しんのすけが新宿東口のスクリーンで大暴れ？『**映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレツ！オトナ帝国の逆襲**』がラインナップされました。

無声映画では弁士が熱く語る愛に注目!!

王子と下宿の娘との青春純愛をロマンティックに描く『**思ひ出**』。映像だけでなく、弁士・澤登翠の語りに心ときめくこと必至。そしてクラシックアニメ短編6本を上映。弁士それぞれの特徴ある語りを堪能できます。

上記作品以外にも魅力たっぷりのラインナップをご用意しました。詳しくは別紙をご覧ください。

2023年初夏、新宿東口は多様な愛が溢れます!!

【映画祭概要】

名称：新宿東口映画祭2023
期間：2023年5月26日（金）～6月8日（木）14日間
会場：武蔵野館　　〒160-0022 東京都新宿区新宿3-27-10 武蔵野ビル3F
　　シネマカリテ　〒160-0022 東京都新宿区新宿3-37-12 新宿NOWAビルB1F
公式HP：https://filmfest.musashino-k.co.jp/
Twitter：@shinjuku_f_fest
後援：新宿区／公益財団法人 新宿未来創造財団／一般社団法人 新宿観光振興協会
協力：新宿東口商店街振興組合／国立映画アーカイブ
協賛：UNIQLO新宿フラッグス店

【この件に関するお問い合わせ】
武蔵野興業株式会社　担当：豊田　TEL：03-3352-0052　E-mail：press@musashino-k.co.jp

新宿東口映画祭

SHINJUKU EAST SIDE FILM FESTIVAL 2023

上映作品

【新作】

『断捨離パラダイス』

©2023映画『断捨離パラダイス』製作委員会

いまだかつてない「ゴミ屋敷」断捨離ヒューマン・コメディ！

ピアニストの白高律稀はある日突然、原因不明の手の震えによりキャリアを断たれてしまう。ピアノのみに人生を捧げてきた彼は、絶望から立ち直るべく、たまたまチラシで見かけたゴミ屋敷専門の清掃業者「断捨離パラダイス」で働くことを決意する。破天荒な上司と、様々な事情を抱えた依頼者たち。華やかな世界から一転、律稀は想像を絶する世界を目撃していくことになるのだった……。

監督・脚本：萱野孝幸
出演：篠田諒、北山雅康、武藤十夢（AKB48）、中村祐美子、関岡マーク、泉谷しげる
2022年／日本／101分／DCP／クロックワークス

『認知症と生きる　希望の処方箋』

©2025年問題映画製作委員会

『がんと生きる　言葉の処方箋』に続く処方箋シリーズ第二弾！

特効薬のない病、認知症が増えている中で、認知症とどう付き合って生きていくのが問われています。本作では、名古屋の病院で音楽療法を実践する二人の音楽療法士にスポットを当てています。音楽療法士が優しく音楽を投げかける。相手の病状と人生を鑑みながら適切な音楽療法を施していく。すると、そこには、誰も予想しなかった結果が…。音楽と人の深いつながりの中に希望が見えてきます。

監督：野澤和之
出演：北村裕美子、赤塚 望
2022年／日本／110分／DCP／武蔵野エンタテインメント

新宿東口映画祭

SHINJUKU EAST SIDE FILM FESTIVAL 2022

【日本映画】 製作年度順

『愛と誠』

©1974松竹株式会社

スキー遊びに興じていた少女が危険な斜面を滑り出し、あわや谷へ落ちようとする瞬間、突然飛び出して少女を救ったのは、蓼科に住む少年だった。
その日から少女の心には白馬の騎士への思慕が芽生え、少年の顔には醜い傷が残った。少女の名前は「愛」。少年の名前は「誠」。8年後、二人は運命の再会を果たすが…。

原作：梶原一騎　作画：ながやす巧「愛と誠」（講談社／週刊少年マガジン連載）
監督：山根成之
出演：西城秀樹、早乙女愛、仲雅美
1974年/日本/89分/35mm/松竹

『男はつらいよ　寅次郎相合い傘』

©1975松竹株式会社

車寅次郎ことフーテンの寅は、東北のとある田舎町で、変な男と出会った。兵藤謙次郎と名乗る男は、親の七光りもあって一流会社の“おかざり重役”で、冷たい家庭と平凡な生活にあき蒸発したのだった。事情を聞いた寅は、兵藤と一緒に旅をする。
ある日、函館のラーメン屋で、寅は二年ぶりにリリーと再会する。

原作・監督・脚本：山田洋次
出演：渥美清、倍賞千恵子、浅丘ルリ子、船越英二
1975年/日本/91分/DCP/松竹

『潮騒』

©1975 東宝

伊勢湾の湾口にある歌島は人口千四百の島。
ある日、18歳の新治は夕暮れの浜で少女と出会う。少女は村の金持、宮田照吉の娘で初江という。後日、山の観的哨跡で新治は再び初江と遭遇し、二人はすぐに意気投合する。噂好きの村人から避けるために、この観的哨跡を二人の秘密の場所として逢瀬を重ねるが—。

監督：西河克己
出演：山口百恵、三浦友和、初井言栄
1975年/日本/92分/35mm/東宝

『さらば夏の光よ』

©1976松竹株式会社

南条宏と野呂文平は、アルバイト捜しでファーストフード店に立ち寄り、そこで美しい店員・戸田京子を一目見て、二人とも心うばわれる。内向的な野呂と違い行動的な宏は、その店に採用される。京子の心を次第に捉えた宏は、遂にデートの約束をするが、すっぽかしてしまう。代役で野呂がデートへ行くことになるが・・・。

原作：遠藤周作「さらば夏の光よ」
監督：山根成之
出演：郷ひろみ、秋吉久美子、川口厚、仲谷昇
1976年/日本/89分/35mm/松竹

『ピンク・レディーの活動大写真』

©1978 東宝

製作者の白川、監督の赤沢、脚本家の青田の三人は、ピンク・レディーの主演映画のアイデアを出しあっていた。
青田は恋愛ドラマ企画、白川はSF映画のアイデア、そして赤沢はアクション活劇、西部劇を提案する。しかし3人の意見はなかなかまとまらず—。

原案：ジェームス三木
監督：小谷承靖
出演：根本美鶴代、増田啓子、石立鉄夫、田中邦衛、秋野太作
1978年／日本／83分／35mm／東宝

『失楽園』

©角川映画・東映・三井物産・日本出版販売

現代書房の敏腕編集者だった久木は、突然閑職に追いやられる。そんな久木の前に、美しい人妻・凛子が運命の女性のように現れる。逢瀬を重ねる久木と凛子は、次第に二人だけの世界に没入していく。久木は密かに都内にマンションを借り、凛子との愛の巣をつくりあげる。

原作：渡辺淳一「失楽園」（講談社）
監督：森田芳光
出演：役所浩司、黒木瞳
1997年／日本／119分／35mm／東映／R15

『ジョゼと虎と魚たち』

© 2003「ジョゼと虎と魚たち」フィルムパートナーズ

麻雀屋でバイトをする大学生の恒夫。最近麻雀屋で近所の婆さんの話題が噂になっていた。「あの婆さんは運び屋で乳母車の中は大金？麻薬？」ある日、恒夫は坂道を走ってくる乳母車と遭遇。中をのぞくとそこには包丁を振り回す少女が。それが恒夫とジョゼの出会いだった。恒夫は不思議なジョゼに惹かれてゆく･･･。

原作：田辺聖子「ジョゼと虎と魚たち」（角川文庫）
監督：犬童一心
出演：妻夫木聡、池脇千鶴、上野樹里
2003 年／日本／116 分／DCP／アスミック・エース／PG12

『メゾン・ド・ヒミコ』

©2005『メゾン・ド・ヒミコ』製作委員会

ある日、塗装会社で働く沙織のもとに若くて美しい男・春彦が訪ねてくる。彼は、沙織と母親を捨てて出て行った父の恋人だった。沙織の父は、ゲイのための老人ホーム「メゾン・ド・ヒミコ」の館長を務めているが、癌で余命幾ばくもない。
春彦は、父を嫌って憎んでいた沙織に、老人ホームを手伝わないかと提案する。

監督：犬童一心
出演：オダギリジョー、柴咲コウ、田中泯、西島秀俊
2005年／日本／131分／35mm／アスミック・エース

『殿、利息でござる！』

©2016「殿、利息でござる！」製作委員会

金欠の仙台藩は百姓や町人へ重税を課し、破産と夜逃げが相次いでいた。
町の将来を心配する十三郎は、知恵者の篤平治から、「藩に大金を貸し付け利息を巻き上げる」という大胆な宿場復興の秘策を打ち明けられる。
計画が明るみに出れば打ち首確実だが、十三郎はじめ宿場町の仲間たちは、己を捨てて私財を投げ打ち悲願に挑む！

原作：磯田道史『無私の日本人』所収「穀田屋十三郎」（文春文庫）
監督：中村義洋
出演：阿部サダヲ、瑛太、妻夫木聡
2016年／日本／129分／DCP／松竹

『湯を沸かすほどの熱い愛』

©2016「湯を沸かすほどの熱い愛」
製作委員会

銭湯「幸(さち)の湯」を営む幸野家は、父の出奔により休業状態。母・双葉は、持ち前の明るさと強さで、パートをしながら娘を育てていたが、ある日突然、「余命わずか」という宣告を受ける。
彼女は家族の為に、限られた時間の中で、「絶対にやっておくべきこと」を決め、実行することを決意する。

監督・脚本：中野量太
出演：宮沢りえ、杉咲花、松坂桃李、オダギリジョー
2016年／日本／125分／DCP／クロックワークス

『アイネクライネナハトムジーク』

©2019映画「アイネクライネナハ
トムジーク」製作委員会

仙台駅前。大型ビジョンには、日本人のボクシング世界王座をかけた試合に沸く人々。そんな中、街頭アンケートに立つ佐藤の耳に、ギターの弾き語りが響く。歌に聴き入る紗季と目が合い声をかけると、アンケートに応えてくれた。二人の出会いは、周囲の人々を巻き込み、10年の時をかけた奇跡のような瞬間を呼び起こす—。

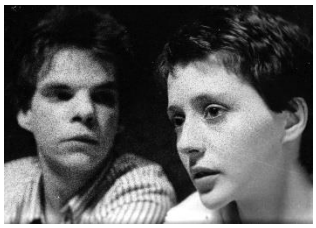
原作：伊坂幸太郎「アイネクライネナハトムジーク」（幻冬舎文庫）
監督：今泉力哉
出演：三浦春馬、多部未華子
2019年／日本／119分／DCP／ギャガ

新宿東口映画祭

SHINJUKU EAST SIDE FILM FESTIVAL 2022

【洋画】 製作年度順

『ボーイ・ミーツ・ガール』



©THEO FILM

少年アレックスが美しい少女ミレーユと出会い、やがて悲劇的な結末を迎えるまでを、ベルベットのように艶やかなモノクローム映像で綴る。夜闇にうかぶ街の光が宝石のように刻まれた画面は、フィルム・ノワールの雰囲気を漂わせながら、80年代の精神の声を伝えている。

監督・脚本：レオス・カラックス
出演：ミレーユ・ペリエ、ドニ・ラヴァン、エリー・ポワカール
1984年/フランス/104分/35mm/ユーロスペース

『シティ・オブ・ゴッド』

©O2 Filmes curtos Ltda. and Hank Levine film GmbH 2002.

ブラジル、リオデジャネイロ郊外に「神の街」と呼ばれる貧民街があった。絶え間ない抗争が続き、子供たちが平気で銃を手にする悲惨な街で、逞しく生きる少年ギャングたち。ブスカペは写真家を目指し、リトル・ゼはギャングの道を選び、ベネは恋人と街を出ることを夢見る…。

原作：パウロ・リンス「Cidade de Deus」
監督：フェルナンド・メイレレス
出演：アレッシャンドレ・ロドリゲス、レオンドロ・フィルミノ・ダ・オラ
2002年/ブラジル/130分/35mm／アスミック・エース

『グリーン・インフェルノ』

©2013 Worldview Entertainment Capital LLC & Dragonfly EntertainmentInc.

過激な慈善活動をしている学生グループは、資源を狙った企業の森林伐採により絶滅の危機に瀕しているヤハ族を救おうと現地へと乗り込む。しかし、彼らの乗った飛行機はエンジントラブルを起こし、熱帯雨林に墜落。生き残った学生たちは助けを求めるのだが、そこにいたヤハ族とは、人間を食べる習慣をもつ食人族だった…。

監督：イーライ・ロス
出演： ロレンツァ・イッツォ、アリエル・レビ、アーロン・バーンズ、カービー・ブリス・ブラントン、スカイ・フェレイラ
2013年/アメリカ・チリ合作/101分/DCP/ポニーキャニオン/R18+

『悪党に粛清を』

©2014 Zentropa Entertainments33 ApS, Denmark, Black Creek Films Limited, United Kingdom & Spier Productions (PTY), Limited, South Africa

1870年代アメリカ。元兵士のジョンは敗戦で荒れたデンマークからアメリカへと旅立つ。7年後、事業も軌道に乗り妻子と再会を喜び合っていたのもつかの間、非情にも目の前で妻子を殺されてしまう。怒りで犯人を見つけ撃ち殺したジョンだったが、犯人はこの辺り一帯を支配する悪名高い大佐の弟だったことから彼の怒りを買う。

監督：クリスチャン・レヴリング
出演：マッツ・ミケルセン、エヴァ・グリーン、ジェフリー・ディーン・モーガン
2014年/デンマーク・イギリス・南アフリカ合作/93分/DCP/STAR CHANNEL MOVIES/R15+

『キャロル』

©NUMBER 9 FILMS（CAROL）
LIMITED / CHANNEL FOUR
TELEVISION CORPORATION
2014 ALL RIGHTS RESERVED

1952年、ニューヨーク。高級百貨店のおもちゃ売り場でアルバイトとして働いているテレーズ。ある日、娘へのクリスマスプレゼントを探しに訪れた、美しく魅力的なキャロルにテレーズは目を奪われる。とある一件から2人は食事をする仲に。
テレーズはキャロルが離婚協議中であることを知るも、次第に2人は惹かれ合い―。

原作：パトリシア・ハイスミス「キャロル」（河出文庫）
監督：トッド・ヘインズ
出演：ケイト・ブランシェット、ルーニー・マーラ、カイル・チャンドラー、ジェイク・レイシー、サラ・ポールソン
2015年/アメリカ/118分/DCP/ハピネットファントム・スタジオ/PG12

新宿東口映画祭

SHINJUKU EAST SIDE FILM FESTIVAL 2022

【アニメーション】劇場作品、テレビ作品、製作年度順

『サイボーグ009』

©石森プロ・東映

地球征服をもくろむ悪の組織ブラック・ゴースト団。彼らによって改造人間にされたサイボーグたちは、能力を活かしてB・G団と闘うが、あるとき003が人質に取られてしまう。次々に襲いかかる攻撃をくぐり抜け、アジトへの侵入に成功するが、それは敵の罠だった。果たして、009は仲間を救出し、首領・電子頭脳に勝てるのか！？

原作：石森章太郎「サイボーグ009」（「少年キング」連載）
作画監督：木村圭市郎
声の出演：太田博之、ジュディ・オング、曾我町子
1966年／日本／64分／DCP／東映

『シリウスの伝説』

© 2023 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L640081

水の王子シリウスはある日、火の女神の娘マルタに出会う。恋に落ちた二人は「火と水がともに暮らせる星」が宇宙のどこかにあり、そこへ90年に一度の日食の日に行けることを知るが..
.製作期間3年、8万枚のセル画を全てハンドトレスし、当時アニメーションで表現するのが最も難しいとされた「火」と「水」の複雑な動きが見事に描かれたフルアニメーション大作。

原作・製作：辻信太郎
監督：波多正美
声の出演：古谷 徹、小山茉美、榊原郁恵、潘 惠子、宇野重吉、内海賢二、武藤礼子
1981年／日本／108 分／35mm／株式会社サンリオ

「一ツ星家のウルトラ婆さん」（4話～6話を上映）

©ICHI

平凡なムスコ夫婦の世話になっているお婆ちゃん。知能言動は小学校5年生なみ。好奇心旺盛で、たびたびドジをふみ、みんなのひんしゅくをかっている。しかし本当はウルトラ会（元徳川家の諜報員たちの集まり）の首領。語学堪能な、泣く子もだまるスーパー婆さん！ 日本全国、西から東、トラ婆さんのギャグ旋風がふき荒れる！

企画・製作・原案：西野聖市
声の出演：松金よね子、池水通洋、幸田直子、鈴木三枝、佐々木るん、立川千晶、稲垣悟
1982年／日本／72分／BD／株式会社ICHI

『映画クレヨンしんちゃん　嵐を呼ぶモーレツ！オトナ帝国の逆襲』

©I臼井儀人／集英社・シンエイ・テレビ朝日 2001

かすかべに新しくできた20世紀博に大人たちは夢中になっていた。ある晩、懐かしい匂いが放出され、ひろしやみさえなどが子どものようになってしまう。オトナ帝国の野望を止めるには、かすかべ防衛隊の子供たちの力が必要。しんのすけは、家族で未来を生きるために走り出すのだった。

原作：臼井儀人
監督・脚本：原恵一
声の出演：矢島晶子、ならはしみき、藤原啓治、こおろぎさとみ、真柴摩利
2001年／日本／89分／35mm／東宝

新宿東口映画祭

SHINJUKU EAST SIDE FILM FESTIVAL 2023

無声映画 上映作品

「愛をスクリーンで」～無声映画篇～

『思ひ出』

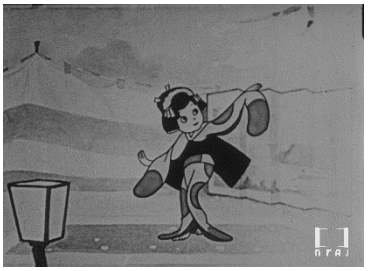
写真提供：マツダ映画社

名匠エルンスト・ルビッチ監督がドイツの戯曲「アルト・ハイデルベルク」を原作に青春純愛ものの古典を純粋なロマンティック・フィルムに仕上げ、ヒットした名作。
20世紀初頭、厳格な王を父とするドイツ・ザクセン公国の王子カール・ハインリッヒはハイデルベルク大学に遊学。下宿の娘カティと恋に落ちるが…。

監督：エルンスト・ルビッチ
製作：エルンスト・ルビッチ・プロダクション
出演：ラモン・ノヴァロ、ノーマ・シアラー
1927 年/米国/102 分/BD/作品提供：マツダ映画社
弁士：澤登翠
演奏：カラード・モノトーン・デュオ
（ギター：湯浅ジョウイチ、フルート：鈴木真紀子）

「愛をスクリーンで」～クラシックアニメ篇～

『元禄恋模様 三吉とおさよ』

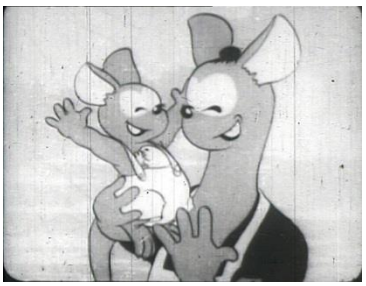


写真提供：国立映画アーカイブ

昭和8年封切のＲＫＯ作品「キングコング」のパロディー版時代劇。三吉は恋するおさよちゃんの危機を救えるのか…。

作画監督：瀬尾光世
製作：日本マンガフィルム研究所
1934年/日本/8分/BD/国立映画アーカイブ所蔵作品
弁士：尾田直彪

『カンガルーの誕生日』

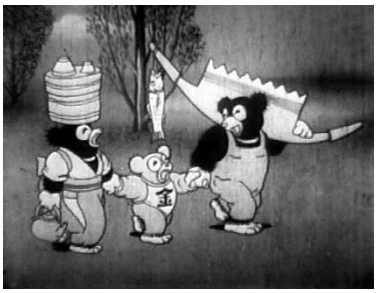


写真提供：マツダ映画社

今日はカンガルーのカンちゃんの誕生日、ご馳走の匂いをかぎつけた狼が襲ってきて、カンちゃんはさらわれてしまう。さぁ大変…。

作画監督：熊川正雄
原作：木村阿弥子
製作：日本映画科学研究所
1940年/日本/10分/BD/作品提供：マツダ映画社
弁士：樗澤賢一

『動物村の大騒動』

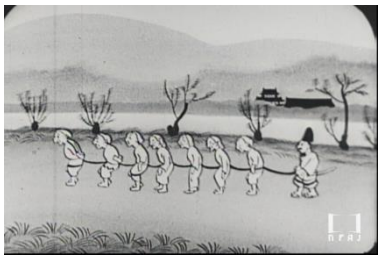


写真提供：マツダ映画社

動物村には、くま、たぬき、さるの家族が仲良く暮らしていました。ある日、村は嵐に見舞われ…。

作画監督：山本早苗
製作：詳細不明
製作年不詳/日本/9分/作品提供：マツダ映画社
弁士：武藤兼治

『教育線画　姨捨山』

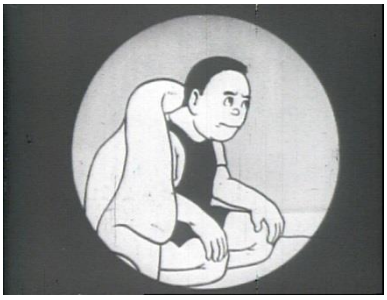


写真提供：国立映画アーカイブ

昔、信濃国に老人嫌いな殿様がおり、60歳になると老人は島流しになる掟があった。8月15日の晩、母親思いの百姓の息子は、60歳になった母親を山に連れて行き、無慈悲な役人の手に渡すより山に置き去りにしようとしたが…。

作画監督：山本早苗（戸田早苗）
製作：東京漫画倶楽部
1925年/日本/18分/BD/国立映画アーカイブ所蔵作品
弁士：山城秀之

『三公と蛸』



写真提供：マツダ映画社

怠け者の魚屋の三公は今朝も仕入れに行かずごろ寝をしている。そこへ友人が宝を乗せて沈んだという船の場所を書いた地図を持って来て、上手く引き上げたら山分けしようと持ちかける。三公は一人小舟で宝探しに出かけるが…。

作画監督：村田安司
製作：横浜シネマ商会
1933年/日本/16分/BD/作品提供：マツダ映画社
弁士：澤登翠

『馬具田城の盗賊』

写真提供：国立映画アーカイブ

吾妻の国の都、馬具田の城下に、怠け者で他人の財布などを盗っている団子兵衛という若者がいる。ある日、団子兵衛は城主の美しい姫君が落とした御守を拾う。怪龍城の宝物を手にした男が、姫の婿になれると知って、団子兵衛は御守を手に怪龍城に向かう…。

作画監督：大藤信郎
製作：自由映画研究所
1926年/日本/14分/BD/国立映画アーカイブ所蔵作品
弁士：澤登翠

演奏：カラード・モノトーン・デュオ
湯浅ジョウイチ（ギター、三味線）　鈴木真紀子（フルート）